

子どもから
一時も目を離さないでいることは
困難です。

環境を整えて事故防止を!!

子どもの特性

子どもは**頭が重い**ので、
頭部から落下しやすい



思わぬ行動をとることがある

発達がめざましく
ある日**突然**できるようになったりする

1歳半~2歳児でも
「**よじ登る**」可能性がある

ガタつき・
腐食・ねじのゆるみを
定期的に点検する



幼児用品は取扱説明書に従い、
ベルト等を適切に使用する
子どもだけを置いて外出しない

関連情報はこちら

名古屋市消費生活センターYouTubeチャンネル
●動画「子どもの転落事故防止」>>



名古屋市消費生活センター情報ナビ
●「STOP! 子どもの転落事故」>>



消費者庁
●「子どもの事故防止ポータル」>>



消費者庁
●「子どもの転落事故に注意」>>



名古屋市公式LINE
●「子育て・教育」情報をお知らせ>>

二次元コードから友だち追加→メインメニュー
右下の受信設定ボタンをタップ→「子育て・教育」
を受信設定して頂くと、イベント情報や注意喚起情報をお届けします



なごや子育てアプリ
●NAGOMii(なごみー)

二次元コードからアプリを
ダウンロードしていただくと、
施設マップやお役立ち情報、
子どもの事故注意喚起など
の情報をお届けします

iPhoneはこちら



Androidの方はこちら



令和6年2月発行

子どもの 転落事故に 注意!

網戸やカーテンに
寄りかかせたり
出窓・窓枠に
座らせない



足場になる家具は
置かない



窓は施錠し、
子どもに外せないように
補助錠を設置



補助錠

名古屋市

子どもに起こりやすい 転落事故

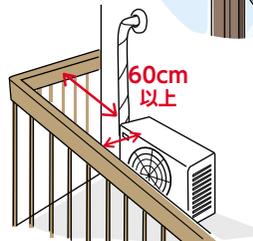
屋内編

ベランダ

つかまり立ちから



ベランダに出る窓には補助錠を設置



踏み台になるものを置かず、
室外機は手すりから60cm以上離す

ベビーベッド

新生児から

転落防止用の柵は常に上げ、
ロックをかける



階段

ハイハイから

ベビーゲートを活用し、
ロックをかける



屋外編



抱っこひも使用時

新生児から

留め具はゆるみの無いように締め、
かがむ時は子どもを支えながら低い姿勢で



オムツ換え台・ソファ

新生児から

できるだけ柵のあるベビーベッドに寝かせ、
オムツ替え台では留め具をする



椅子・テーブル

おすわりから

安全ベルトを締め、立ち上がった
りテーブルを蹴ったりさせない



ベビーカー・ショッピングカート

おすわりから



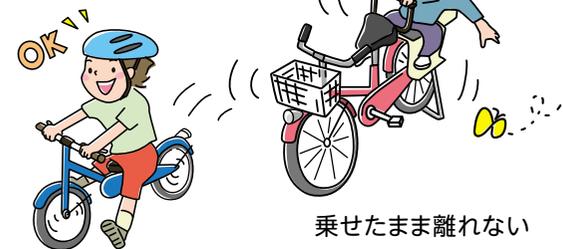
立たせたり遊ばせたりしない



重い荷物をかけるとバランスをくずしやすいので注意

自転車

ペダルなし二輪遊具・キックスケーターで遊ぶ時はヘルメットを着用



乗せたまま離れない

遊具 (すべり台・ジャングルジム・ブランコ) など

かばん・水筒は身に着けず、
ひも・フードのない服装をさせる



危険な遊び方をさせない
遊具の不具合があれば利用させない